

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 海南省社会福祉協議会

平成 2 9 年度

## 社会福祉法人 海南市社会福祉協議会事業報告

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

少子高齢化社会が進み、一人暮らしの高齢者や障害者など地域社会から取り残され孤立している方々が年々増え続けるなど、人と人の関わりが希薄化する一方、それらの地域課題に対し国の法改正や地方の公的機関による新しい福祉施策が追従していない現状であります。

海南市社会福祉協議会は、このような実情を少しでも緩和できるよう、制度の狭間にある福祉課題にも目を向けながら、従来からの相談事業、資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業などをさらに充実させるとともに、ふれあい・いきいきサロンなど地域の活動拠点づくりの拡充を支援し、海南市からの受託事業である第 1 層の生活支援コーディネーター業務をさらに進め、第 2 層域へのコーディネーター配置に備え、特定の地域で行政・住民を交えた地域特有のニーズや資源について懇談し地域活動への意識付けを促しました。

また、安心して暮らせる環境づくりとして、自然災害に備え災害ボランティアの確保に努める他、災害ボランティア講座を開催し防災意識を高めるとともに、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。

加えて、在宅介護事業において、介護保険法の改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業へ参入するなど「市民みんなで安心していきいきと暮らしているまち」の実現を目指し、市民・ボランティア・社会福祉関係者・行政等と連携しながら様々な福祉課題に取り組みました。

事業の詳細については、次のとおりです。

# I. 法人運営事業

## 1. 法人運営事業

### (1) 法人運営事業

#### ①会議の開催

##### ア 理事会の開催

平成29年	6月	6日	平成28年度事業報告について（同意） 平成28年度法人全体決算について（同意） 平成29年度～平成33年度社会福祉充実計画について（同意） 平成29年度第1次補正法人全体収支予算について（同意） 評議員選任候補者の推薦について（同意） 平成29年度第1回評議員会の招集について（同意）
平成29年	6月	30日	会長、副会長の選任について（選任） 会長の職務の執行状況について
平成30年	3月	8日	職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（同意） 訪問介護事業運営規程の一部を改正する規程について（同意） 事務局規程の一部を改正する規程について（同意） 平成29年度第2次補正法人全体収支予算について（同意） 平成30年度事業計画について（同意） 平成30年度法人全体収支予算について（同意） 平成29年度第2回評議員会の招集について（同意） 会長の職務の執行状況について

## イ 評議員会の開催

- 平成29年 6月27日 平成28年度事業報告について（議決）  
平成28年度法人全体決算について（議決）  
平成29年度～平成33年度社会福祉充実計画について（議決）  
平成29年度第1次補正法人全体収支予算について（議決）  
理事（14名）選任について（議決）  
監事（2名）選任について（議決）
- 平成30年 3月26日 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（議決）  
訪問介護事業運営規程の一部を改正する規程について（議決）  
事務局規程の一部を改正する規程について（議決）  
平成29年度第2次補正法人全体収支予算について（議決）  
平成30年度事業計画について（議決）  
平成30年度法人全体収支予算について（議決）

## ウ 監事会の開催

- 平成29年 5月26日 平成28年度事業報告及び法人全体決算について

## エ 評議員選任・解任委員会の開催

- 平成29年 6月20日 評議員の選任について（承認）

## ②研修会の開催

### ア 役職員研修会への参加

平成30年2月19日、和歌山県民文化会館において、「誰もが支え、支えられ安心して生活できる地域を創る実践」をテーマに、平成29年度市町村社会福祉協議会役職員研修会が開催され、役員7名・職員2名が参加しました。

研修会の内容は、大学教授による地域共生社会にかかわる基調講演と制度の狭間にある福祉課題への対応事例と

して県内の社会福祉法人、民生委員、ボランティア等による 4 件の取り組みについてパネルディスカッションが行われました。

### ③社会福祉協議会会員の募集

自治会の方々の尽力をいただき、住民の皆様方、また民生委員児童委員協議会、企業、団体等の理解と協力を得て、次のとおり社会福祉協議会会費を納入していただきました。

加入世帯数は14,330世帯で、平成30年3月末日の世帯数22,342世帯に対して、加入率は64.1%でした。

(内 訳)

区 分	年額 (1口)	口 数	納 入 額
一 般 会 費	400 円	13,490 口	5,396,000 円
	400 円未満	—	161,903 円
賛 助 会 費	1,000 円	286 口	286,000 円
特 別 会 費	5,000 円	31 口	155,000 円
合 計			5,998,903 円

### ④社会福祉功労者表彰式の開催

平成29年10月19日、海南保健福祉センターにおいて、平成29年度海南市社会福祉功労者表彰式を開催しました。

(被表彰者) 市社協会長表彰 7名 (民生委員・児童委員功労者など)

市社協会長感謝 4団体 (社会福祉事業協助者)

平成29年10月11日、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛において、平成29年度和歌山県社会福祉功労者表彰式が開催されました。

(本市被表彰者) 県社協会長表彰 3名・1団体 (社協役員・職員功労者、ボランティア功労者)

⑤指定寄附金の配分

寄附者の指定により寄附金を交通遺児の子どもたちへ届けました。

II. 地域福祉事業

1. 共同募金配分金事業

(1) 老人福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

老人クラブ連合会 90,000円

(2) 障害児・者福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

身体障害者連盟 200,000円

障害児者父母の会連合会 160,000円

手話サークル青空 30,000円

海南たんぽぽの会 30,000円

(3) 児童・青少年福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

更生保護女性会 40,000円

紀西保護司会海南分会 30,000円

(4) 福祉育成・援助活動事業

①介護用品貸与事業

高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の

車イス体験及び防災研修会等で車イスの介助等を学ぶために、車イスを貸与しました。

貸与先	貸与件数	貸与台数
個人	23件	23台
その他	15件	44台

## ②福祉ビデオ等貸与事業

市内に住所を有する方や市内に通勤又は通学されている方を対象に、福祉に関するDVDを貸し出しました。

(貸与件数7件)

## 2. 地域福祉活動推進事業

### (1) 善意銀行運営事業

平成29年10月20日に開催された善意銀行運営委員会の審議を経て、住民の方々や企業、団体等からの善意の預託金を次の5団体に対して、1,100,838円を払い出しました。

また、指定預託として、次の2団体に60,000円を払い出しました。

(任意預託)

団体名	内容	払出金額
社会福祉法人一峰会 あすなる共同作業所	机、椅子、テント備品一式	298,920円
海南たんぽぽの会	デジタルカメラ及び備品	66,453円

社会福祉法人和歌山県福祉事業団 養護老人ホーム 白寿荘	加湿空気清浄器	245,700円
社会福祉法人あおい会 エトワル	平均台等レクリエーション道具	229,500円
社会福祉法人あおい会 生活介護事業の従たる事業所リアン	LED プロジェクター等	260,265円

(指定預託)

団 体 名	内 容	払 出 金 額
きうち子ども食堂	現 金	30,000円
オナカスイータ ～ちいさな家～	現 金	30,000円

## (2) 心配ごと相談事業

### ア 心配ごと相談所の開設

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、行政相談も含め個人の心配ごとなどに対する助言や援助を行って解決に努めると共に、他の機関において解決するのが適切な相談については斡旋による解決を図る等、住民福祉の増進に努めました。その事業内容は次のとおりです。

#### ○相談所運営状況

相 談 場 所	海南保健福祉センター1階
	下津保健福祉センター1階



相 談 員	民生委員15名・行政相談委員2名・元行政相談委員1名
開 設 日 数	68日
相談利用者数	40名(男13名・女27名)
面接総時間数	31時間50分

○取扱件数及び処理状況

相 談 事 項 件 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合 計	
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者児福祉	母子福祉・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他		
取 扱 件 数	7	3	4	12	7	1	2		3	3	12		1					2	15	72	
処 理 状 況	解 決	1		1	1														1	4	
	再 来	1		1	3	1			1											7	
	民生委員		1		2	1			2	1	4							1	3	15	
	他 機 関	3	2	1	4	1	1	1		1	7		1							1	23
	そ の 他	2		1	3	3		1			1	1							1	10	23

### (3) 広報事業

#### ア 広報紙の発行

社会福祉協議会の事業や活動について、住民の皆様方に幅広く知っていただくため、広報紙「かいなんし社協」を毎月発行し、自治会の方々の尽力をいただき、市内全戸に配布しました。

#### イ ホームページの運営

ホームページに新しいコンテンツを追加し、地域単位の活動状況など社会福祉協議会の情報提供の充実を図りました。

### (4) 世代間交流事業

子どもたちと家族のふれあいや、三世代間の交流と青少年の健全育成を目的に、世代間交流事業を実施しました。

#### ア ふれあい福祉フェスティバルの開催

海南・海草障害者地域自立支援協議会との共催によりフェスティバルを開催しました。

平成29年9月30日 海南市総合体育館（参加者延べ400名）

〔内 容〕 屋外イベント：作業所模擬店

体育館イベント：社協コーナー、工作体験、ミニ新幹線、市内作業所等の販売コーナー、社協・作業所のゲームコーナー（グラウンドゴルフ、ストラックアウト）、スタンプラリー、フォトブース、ふわふわパンダ、ライブペイント、フラダンス、こども食堂ワークショップ

#### イ 工作体験の開催

小学生を対象に民生委員、ボランティアの協力を得て工作体験を開催しました。

【第1回】平成29年7月23日 海南保健福祉センター（参加者48名、うち子ども22名）

講師：小 阪 享 氏

[内 容] 和歌山の名所の工作

【第2回】平成30年3月28日 下津保健福祉センター（参加者54名、うち子ども33名）

講師：小 阪 享 氏

[内 容] 貯金箱の工作

#### (5) 用具等貸与事業

##### ア チャイルドシート等の貸出し

住民の子育てに係る補完的役割を果たすと共に、チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害の防止を図るために、チャイルドシート等を貸し出しました。

品 名	貸 出 件 数
チャイルドシート	8 件
ジュニアシート	1 件

##### イ グラウンド・ゴルフ用具等の貸出し

住民の交流及び健康増進を図るために、グラウンド・ゴルフ用具等を貸し出しました。

品 名	貸 出 件 数
グラウンド・ゴルフ用具	11 件
テ ン ト	0 件

#### (6) 福祉教育事業

学校や身近な地域の方々等と共に取り組む福祉教育プログラムを通して、まちに住む様々な人が地域の福祉課題に気づき、ノーマライゼーションの考えに基づく福祉の心（各々の個性の違いを認め、共感し支え合える心）を育

むことを目的に福祉教育事業を実施しました。

[内 容] 車イス体験、アイマスク体験、高齢者擬似体験・高齢者インタビュー・高齢者施設訪問等

[実施先] 日方小学校、大野小学校、巽小学校、加茂川小学校、大東小学校、第三中学校、亀川中学校、巽中学校、下津第一中学校、たつべパークランド地区

[実施回数] 50回

## (7) ボランティアセンター活動事業

### ア ボランティア活動推進校の普及及び支援

○市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、学校における福祉教育や交流・体験学習による福祉活動等の推進と児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深めることを目的に、ボランティア活動推進校普及事業を実施し、この事業に取り組みされた10校（日方小学校、大野小学校、巽小学校、北野上小学校、南野上小学校、大東小学校、第三中学校、巽中学校、東海南中学校、海南下津高等学校）をボランティア活動推進校として指定すると共に、活動に対する支援を行いボランティア活動の普及に努めました。

### イ ボランティア体験事業の実施

○2017「夏のボランティア体験月間」事業の一環として、ボランティア活動に関心のある小学生、中学生及び高校生が、夏休み期間を利用し、様々なボランティア活動を体験することを目的に、夏のボランティア体験事業を実施しました。

#### 【夏まつり体験】

期 日：平成29年7月30日、8月6日、17日

参加者：26名（中学生20名、高校生6名）

内 容：高齢者施設で開催される夏まつりの準備や高齢者の介助の手伝いを通じて、入所者や地域の人たちと交流しました。

【デイサービス体験】

期 日：平成29年7月28日

参加者：3名（中学生2名、高校生1名）

内 容：高齢者施設のデイサービスを利用されている方のお世話や買い物の手伝い、車イスの介助、レクリエーションを通じて交流しました。

【レクリエーション体験】

期 日：平成29年7月24日、31日、8月3日、8日、9日

参加者：13名（中学生13名）

内 容：高齢者施設に入所されている高齢者と、レクリエーションを通じて交流しました。

【外出支援体験】

期 日：平成29年7月25日、8月10日

参加者：4名（中学生1名、高校生3名）

内 容：高齢者施設に入所されている方の買い物の手伝いや車イスの介助等を通じて交流しました。

【環境美化体験】

期 日：平成29年7月28日、8月10日

参加者：22名（中学生22名）

内 容：環境美化への関心を高めるため、自分たちの住むまちを歩きながら清掃しました。

【収集体験】

期 日：平成29年7月26日、27日

参加者：44名（小学生7名、中学生37名）

内 容：ペットボトルキャップをリサイクルすることで、ゴミを無くしてCO2を減らし、地球温暖化を防ぐためなど、ボランティアと一緒にキャップを選別し、洗浄しました。

【盲導犬・セラピー犬ふれあい体験】

期 日：平成29年8月6日

参加者：9名（小学生9名）

内 容：盲導犬やセラピー犬の紹介やふれあい体験を通して、障がいのある方を取りまく環境やボランティアとのかかわりについて理解を深めました。

【ふれあい・いきいきサロン体験】

期 日：平成29年7月22日、8月14日

参加者：8名（小学生2名、中学生4名、高校生2名）

内 容：各地区で開催されているふれあい・いきいきサロンに参加している高齢者の方などと一緒にレクリエーションのお手伝いを通じて交流しました。

【ほっとカフェ・サロン交流体験】

期 日：平成29年8月1日

参加者：3名（高校生3名）

内 容：子育てについて悩みを持っている方々が集まるほっとカフェとサロンの方々が交流する場に参加し、様々な世代の方と交流しました。

【認知症カフェ体験】

期 日：平成29年8月18日

参加者：3名（中学生3名）

内 容：認知症カフェのお手伝いを通じて、認知症について正しく理解し、認知症の方との接し方を学びました。

ウ ボランティアの相談、登録及び斡旋

○ボランティアの登録、活動に関する相談や斡旋等の窓口を設け、ボランティア活動の普及に努めました。

## エ ボランティア情報の提供等

- ボランティアグループの紹介や参加者募集等、ボランティア活動に関する情報について、社協広報紙やホームページを通じて提供及び啓発を行いました。
- 平成29年10月15日、海南保健福祉センターにおいて開催された海南市民健康まつりに参画し、収集ボランティア活動についてのコーナーを設け、啓発を行いました。

## オ ボランティア活動の支援及び育成

- ボランティア活動中の万一の事故に備え、安心して活動に取り組めるようにボランティア活動保険に加入しました。(加入者975名)
- 地域福祉の向上とボランティア活動の拡充及び促進を図るため、海南市社会福祉協議会に登録しているボランティアグループを対象に、申請のあった18グループに対して、ボランティア活動支援事業助成金を交付しました。
- 給食ボランティアわかば会及び大野地区配食ボランティアによる食事サービス活動に対して、材料費等の支援を行いました。

### 実施日

\*給食ボランティアわかば会 (ボランティア延べ315名、延べ1,185食分)

平成29年4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、10月1日、11月1日、12月1日

平成30年2月1日、3月1日

\*大野地区配食ボランティア (ボランティア延べ154名、延べ491食分)

平成29年4月15日、5月15日、6月15日、7月15日、9月15日、10月15日、

11月15日、12月15日

平成30年1月15日、2月15日、3月15日

## カ 災害ボランティア活動の促進及び基盤強化

○平成29年10月22日から23日にかけて、台風21号が襲来し、海南市内で多くの被害が発生しました。

10月24日から11月6日の間に本協議会に登録されているボランティアの方々を中心に、被害の大きかった室山地区周辺において戸別訪問での調査を行った結果、床上浸水した家屋の畳を上げたり家具を移動させてほしいなど計21件のニーズが寄せられ、この間に駆けつけていただいた延べ31名のボランティアと社協職員により支援活動を行いました。

○平成30年2月10日、海南スポーツセンターにおいて、平成29年台風21号における災害ボランティア活動の報告と、災害ボランティアとして地域住民にできることや、平常時でもできる活動などを学んでいただくことを目的に災害ボランティア講座を開催しました。(参加者24名)

【報告】台風21号におけるボランティア活動について

【グループワーク】みんなで考える地域住民でできること

○平成30年3月11日、海南市住民センターにおいて、大規模災害時に各地から駆けつける災害ボランティアを受け入れ、支援活動を円滑に進めるための拠点となる災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。

この日は、東日本大震災の発災7年を迎えることから、当時の宮城県への派遣職員報告から災害時の状況や災害ボランティアセンターの役割などを振り返り、センターの役割や機能などについて学ぶとともに、参加者には運営スタッフ役と災害ボランティア役の両方を体験していただきました。(参加者15名)

【説明】東日本大震災派遣から考える地域住民による災害ボランティアについて

地域福祉係長 中谷 宏

【内 容】災害ボランティアセンターの役割や機能について

【訓練】運営スタッフ役



[内 容] ボランティア受付班、オリエンテーション班、マッチング班、資機材班に分かれて各班の役割を体験

#### 災害ボランティア役

[内 容] 災害ボランティアセンターの流れを体験するとともに、海南市消防本部による『災害講習（応急タンカのつくり方）』を実施

#### キ ボランティア連絡協議会との連携

○平成29年11月23日、海南保健福祉センターにおいて、海南ボランティア連絡協議会との共催により、市内の障害者施設及び団体の障害児者とボランティアが、交流会を通じて親睦を深め、相互の連帯感の向上とボランティア活動の振興を図ることを目的に、ふれあい交流会を開催しました。（市内各作業所等77名、ボランティア42名参加）

[内 容] 亀川人形劇サークル「はちの巣」による人形劇、災害に関するゲーム、グラウンド・ゴルフゲーム、ボランティア「菜の花」による紙芝居、「なかよし会」による腹話術、「大野フラワーズ」による踊り

○平成30年2月17日、下津保健福祉センターにおいて、ボランティア活動の体験を通じて、より多くの方々がボランティアを始めるきっかけづくりにしていただくことを目的に、下津町ボランティア連絡協議会の主催で「きてみて体験 ボランティアの集い」を開催しました。（学生ボランティア：中学生18名）

[内 容] 発表コーナー：手品、紙芝居の読み聞かせ、日本舞踊、バンド演奏、人形劇等

体験コーナー：絵手紙、手芸、簡易トイレ、ハイゼックス、さをり織り

販売コーナー：炊き込みご飯、チキンナゲット、フランクフルト、豚汁、飲み物、焼き菓子、バザー

展示コーナー：非常用持出袋、下津・大東・加茂川小学校児童の作品、大東小学校6年の防災新聞

- 海南ボランティア連絡協議会の運営支援
  - 海南ボランティア連絡協議会総会の開催
  - 海南ボランティア連絡協議会理事会の開催（3回）
- 下津町ボランティア連絡協議会等の運営支援
  - 下津町ボランティア連絡協議会会議の開催（4回）
  - ボランティアの集い実行委員会の開催（4回）

(8) ふれあい・いきいきサロン支援事業

ア ふれあい・いきいきサロンの運営支援、設置支援

身近な地域において、高齢者や障がいのある方、子育て中の親などの当事者とボランティアとが協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場を開設することで、地域住民の孤立感の解消、地域の見守り並びに閉じこもり予防、介護予防、健康維持に取り組むふれあい・いきいきサロンを推進し、地域における福祉コミュニティの形成に資することを目的に、17か所のサロンに対し運営支援のほか、活動費・設立費用等を助成しました。

17か所のサロンの一覧表は次のとおりです。

地 区	サ ロ ン 名	主 な 活 動 場 所
大 東	加茂郷いきいきサロン	加茂郷公民館
大 崎	大崎いきいきサロン	大崎会館
大 野	ひまわりの会	大野地区集会所
巽	さわやかサロン	たつべパークランド集会所
黒江・船尾	だいこんの会	船尾地区集会所
黒江・船尾	フレッシュくろえ	黒江防災コミュニティセンター
内 海	幸進サロン	内海公民館

日方	井戸端カフェ	海南駅前改良住宅内集会所
下津	新田わくわくサロン	新田児童館
南野上	ひや水なかよしサロン	ひや水地区集会所
巽	たのしい会	大谷児童会館
冷水	冷水サロン	冷水地区集会所
巽	阪東いきいきサロン	重根西部地区集会所
巽	サロンぼたん	下村地区集会所
日方	陽だまりサロン～なごまんかえ～	日方東部児童会館
日方	みんなのカフェ	海南駅前地区集会所
大野	サニー井田サロン	サニータウン内 民家

このうち、陽だまりサロン～なごまんかえ～、みんなのカフェ、サニー井田サロンについては平成29年度に新たに設置されています。

#### (9) 民生委員互助共励事業

民生委員児童委員の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図るため、民生委員互助共励事業（県社会福祉協議会事業）を実施しました。その給付内容は次のとおりです。

種 別	件 数	金 額	内 訳
一般傷病	5件	48,000円	@10,000×4件、@8,000×1件
一般死亡	1件	30,000円	@30,000×1件
合 計	6件	78,000円	

(10) 地域福祉活動計画進行管理事業

ア 地域福祉計画・地域福祉活動計画の検討会議の開催

海南市と共催で、地域福祉計画・地域福祉活動計画の検討会を開催し、平成29年度の計画の進捗状況等を検証し、翌年度以降の活動の指針としました。

平成30年3月15日 海南市役所

(11) 小地域福祉座談会事業

ア 小地域福祉座談会の開催

地域住民や団体、事業所等が「地域で支え合い、助け合う仕組み」の必要性を認識し、主体的に行動していくきっかけづくりを目的として、高齢介護課のすすめる介護予防・日常生活支援総合事業の「第2層協議体」設置活動において亀川地区をモデル地区として実施しました。

住民同士が地域の課題について話し合い、解決策を考える取り組みとしてグループワーク等を全4回実施しました。

【第1回】平成29年7月13日 亀川公民館（参加者13名）

【第2回】平成29年8月10日 亀川公民館（参加者26名）

【第3回】平成30年1月16日 亀川公民館（参加者21名）

【第4回】平成30年2月21日 亀川公民館（参加者20名）

(12) 担い手発掘・育成事業

ア ボランティア養成講座の開催

仕事を退職されたシニア世代や子育てが終わった方、ボランティア活動に関心や意欲のある方が、ボランティアを始めるきっかけとなるよう、ボランティア養成講座を全4回開催しました。（参加者2名）

【第1回】平成29年11月29日 下津保健福祉センター

〔内 容〕講話「ボランティアとは…」、前年度受講者との交流しました。

【第2回】平成29年12月13日 下津保健福祉センター

〔内 容〕ボランティア活動者との交流、自分にできる活動を考えました。

【第3回】平成30年1月17日、2月1日 各ボランティア活動体験先

〔内 容〕ボランティアと一緒に活動体験をしました。

【第4回】平成30年3月2日 下津保健福祉センター

〔内 容〕情報交換及び交流を行いました。

#### イ ボランティア活動体験の実施

地域福祉活動を担っていただく人材を発掘・育成するため、各種ボランティア活動体験を実施しました。

##### 【ペットボトルキャップ選別・洗浄活動】

期 日：平成29年5月27日

参加者：22名（うち小学生1名、中学生7名、大学生3名）

内 容：ペットボトルキャップをリサイクルすることで、ゴミを無くしてCO<sub>2</sub>を減らし、地球温暖化を防ぐためなど、キャップを選別し、洗浄しました。

##### 【清掃活動】

期 日：平成29年12月2日

参加者：6名（うち小学生2名）

内 容：ウォーキングをしながら下津町内を清掃しました。

(1 3) 福祉総合相談事業

様々な生活課題や福祉課題を相談できる福祉の総合相談窓口として、組織内で相談内容の共有、連携ができる仕組みづくりと、相談内容の集計・評価を行い、福祉相談支援体制の充実を図りました。

相談件数 224 件（うち新規相談 218 件、継続相談 6 件）

(1 4) 家計相談支援事業

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、市の委託を受けて、生活困窮者を対象に家計表の作成と分析・評価を行い、家計の改善を図り、また家計管理能力を高めるための支援を行う家計相談支援事業を実施しました。

利用者 17 名（うち継続利用中 7 名）

(1 5) 生活支援コーディネーター等業務

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するため、市の委託を受けて、地域における生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす地域支えあい推進員として、地域住民及び NPO 法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人等の事業主体と連携しながら、多様な日常生活の支援体制の充実及び強化を図るコーディネーター等業務を実施しました。

ア 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体への参加

期 日：平成 29 年 6 月 1 日、11 月 17 日、平成 30 年 2 月 8 日

イ フォーラム「みんなで創ろう 助けあい社会フォーラム in 海南市」の開催

期 日：平成 30 年 3 月 21 日

場 所：海南保健福祉センター

内 容：【講話】「地域の幸福づくり～増進型地域福祉をめざして～」

講師：大阪府立大学 教育福祉学類 教授 小野達也氏

【活動報告】自治会、民生委員、老人クラブなどで構成される亀川地区の助け合いを考える会「亀川ささえ愛」と亀川中学校1年生により、地域課題にかかる取組報告が行われました。

参加者：258名

(16) 支えあい地域づくり事業

子ども食堂（きうち子ども食堂、オナカスイータ～ちいさな家～）の立ち上げの費用に対し60,000円を助成しました。

3. 福祉サービス利用支援事業

(1) 福祉サービス利用援助事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などに対して、福祉サービス利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的金銭管理、書類等預かりを行う福祉サービス利用援助事業を実施しました。

	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計
前年度末件数	13件	8件	24件	3件	48件
新規契約件数	5件	2件	4件	1件	12件
小 計	18件	10件	28件	4件	60件
契約終了件数	5件	1件	5件	1件	12件
現利用者数	13名	9名	23名	3名	48名

#### 4. 資金貸付事業

##### (1) 資金貸付事業

###### ①生活資金貸付事業

社会福祉対策の一環として、災害や疾病その他の事情により生活に困窮をきたした方に、小口の生活資金を貸付け、その経済的自立の助長と生活意欲の向上を図りました。(貸付件数23件、貸付額1,330,000円)

###### ②生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し、安定した生活を営むための援助施策として、また世帯の生計中心者の失業等により生計の維持が困難となった世帯への援助施策として、次のとおり生活福祉資金貸付事業を実施しました。

種 別	件 数	金 額	内 訳
総合支援資金生活支援費	6件	1,706,900円	@400,000×1件 @394,700×1件 @243,300×1件 @174,000×1件 @305,500×1件 @189,400×1件
総合支援資金一時生活再建費	1件	17,220円	@17,220×1件
福祉資金福祉費	4件	648,040円	@70,736×1件 @319,040×1件 @119,664×1件 @138,600×1件
福祉資金緊急小口資金	2件	130,000円	@100,000×1件 @30,000×1件
教育支援資金教育支援費	9件	19,698,960円	@173,160×1件 @4,615,000×1件 @410,400×1件 @4,680,000×1件 @1,890,000×1件 @2,160,000×1件 @190,400×1件 @3,240,000×1件



			@2,340,000×1件
教育支援資金就学支度費	6件	2,538,106円	@500,000×1件 @277,800×1件 @500,000×1件 @295,390×1件 @500,000×1件 @464,916×1件
合計	28件	24,739,226円	

### ③金銭教室事業

生活福祉資金の借入申込者の生計状況から、金銭管理能力の乏しさゆえ生活が困窮する傾向が顕著であることから、子どもの頃から金銭教育が必要であると考え、小学生とその親を対象に金銭教室を開催しました。

平成29年8月5日 海南保健福祉センター（参加者8名）

〔内 容〕 おこづかいの上手な使い方、子どものうちに知っておきたいお金の話

## Ⅲ. 在宅介護事業

### 1. 介護保険事業

#### (1) 介護保険訪問介護事業

##### ア 介護保険訪問介護事業

要介護認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護保険訪問介護事業を実施しました。

介護保険訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	51	49	45	46	45	45	43	47	49	46	43	45	554

## サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	592.90	608.81	589.15	549.06	557.23	524.42	514.73	491.73	456.90	424.74	437.90	468.99	6,216.56
身体介護	311.58	296.99	287.58	260.08	245.00	249.83	288.49	291.00	258.00	255.41	268.91	272.08	3,284.95
合計	904.48	905.80	876.73	809.14	802.23	774.25	803.22	782.73	714.90	680.15	706.81	741.07	9,501.51

## イ 介護予防訪問介護事業

要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護予防訪問介護事業を実施しました。

介護予防訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

## 実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	32	31	28	26	17	14	14	10	7	6	2	0	187

## サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	193.50	200.75	173.33	149.75	95.50	82.75	86.00	53.25	44.25	32.00	4.00	0.00	1,115.08
身体介護	10.00	11.25	8.25	6.50	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	42.00
合計	203.50	212.00	181.58	156.25	99.50	82.75	86.00	53.25	44.25	32.00	6.00	0.00	1,157.08

## ウ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問介護事業

平成29年4月1日に介護予防・日常生活支援総合事業が新設され、平成29年度中に介護予防訪問介護事業の利用者が、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問介護事業に移行しました。

事業内容は、介護予防訪問介護事業とほぼ同様であり、要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供しました。

介護予防・日常生活支援総合事業訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	4	7	9	15	19	21	25	29	27	32	35	224

サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	4.00	19.00	56.00	69.00	94.00	70.75	117.25	149.75	162.50	170.50	185.75	225.50	1,324.00
身体介護	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00	4.50	8.00	4.00	5.00	3.00	4.50	33.00
合計	4.00	19.00	56.00	69.00	96.00	72.75	121.75	157.75	166.50	175.50	188.75	230.00	1,357.00

## (2) 介護保険居宅介護支援事業

### ア 介護保険居宅介護支援事業

要介護認定を受けた利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、介護支援専門員がケアプランの作成や各居宅サービス提供事業者との連絡、調整等を行う介護保険居宅介護支援事業を実施しました。

居宅介護支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	93	93	88	87	85	85	82	85	85	83	79	79	1,024

### イ 介護予防支援事業

市の委託を受けて、要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、介護支援専門員が介護予防プランの作成や各居宅サービス提供事業者との連絡、調整等を行う介護予防支援事業

業を実施しました。

介護予防支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	13	12	12	13	9	7	6	6	6	5	5	5	99

#### ウ 介護予防・日常生活支援総合事業介護予防支援事業

平成29年4月1日に介護予防・日常生活支援総合事業が新設され、この事業のみの利用者が介護予防支援事業から介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防支援事業に移行しました。

市の委託を受けて、要支援認定を受けた介護予防・日常生活支援総合事業のみの利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、介護支援専門員が介護予防プランの作成や各居宅サービス提供事業者との連絡、調整等を行う介護予防支援事業を実施しました。

介護予防・日常生活支援総合事業介護予防支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	2	3	3	3	5	5	5	5	31

## 2. 障害福祉事業

### (1) 障害福祉サービス居宅介護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して家事援助や身体介護のサービスを提供する障害福祉サービス居宅介護事業を実施しました。

障害福祉サービス居宅介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	17	17	17	17	16	16	16	15	14	12	13	13	183

サービス提供時間

(単位 時間)

家事援助	189.50	193.00	207.50	177.50	176.50	172.50	171.50	151.00	126.50	126.50	118.00	134.50	1,932.50
身体介護	63.50	68.00	67.00	70.00	74.50	65.50	70.50	71.25	61.00	43.75	39.75	42.50	737.25
合 計	253.00	261.00	274.50	247.50	251.00	238.00	242.00	222.25	187.50	158.25	157.75	177.00	2,669.75

(2) 障害福祉サービス同行援護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して同行援護のサービスを提供する障害福祉サービス同行援護事業を実施しました。

障害福祉サービス同行援護事業の利用者は及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	2	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2	30

サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
身体介護有	11.50	7.50	10.50	8.25	5.00	7.50	8.00	14.50	12.50	6.00	11.00	9.00	111.25
合 計	11.50	7.50	10.50	8.25	5.00	7.50	8.00	14.50	12.50	6.00	11.00	9.00	111.25

(3) 障害福祉サービス移動支援事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派

遣して移動支援のサービスを提供する障害福祉サービス移動支援事業を実施しました。

障害福祉サービス移動支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	4	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	30

サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	26.00	28.00	27.50	17.00	11.50	13.50	14.00	13.00	15.00	11.00	13.00	13.00	202.50
身体介護有	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	26.00	28.00	27.50	17.00	11.50	13.50	14.00	13.00	15.00	11.00	13.00	13.00	202.50

#### IV. 在宅福祉事業

##### 1. 在宅福祉事業

##### (1) いきいき介護予防事業

市の委託を受けて、高齢者を対象に、下津保健福祉センターにおいて、利用者相互のふれあいと交流を深め、健康の保持及び増進を図ることを目的に、介護予防体操やレクリエーション、入浴等のサービスを提供しました。

利用者の状況は次のとおりです。

(開所日数：217日)

	男	女	合計
延利用者数	1,650名	2,840名	4,490名
うち地区単位	723名	1,598名	2,321名
うちフリー	927名	909名	1,836名
うちひとり暮らし	0名	333名	333名

## V. その他の関連事業

### (1) 共同募金運動

自治会の方々、民生委員児童委員、ボランティア等のご尽力をいただき、共同募金運動（10月1日～翌年3月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた募金額は次のとおりです。

（目標額及び実績額）

目 標 額	実 績 額	達 成 率
8,732,000円	7,894,065円	90.4%

（実績額内訳）

戸別募金	街頭募金	職域募金	イベント募金	個人募金	その他	合 計
6,827,770円	141,552円	715,266円	8,044円	4,909円	196,524円	7,894,065円

### (2) 赤十字活動資金募集

自治会や奉仕団の方々のご尽力をいただき、赤十字活動資金募集（5月1日～5月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた金額は次のとおりです。

（目標額及び実績額）

目 標 額	実 績 額	達 成 率
7,688,000円	7,118,587円	92.6%